

兵庫自治学会 平成18年度  
第3回コラボレーションプロジェクト  
チャレンジプログラムフォーラム  
「地域通貨でまちづくり」

**パネルディスカッション**

**地域通貨は  
まちづくりに  
役立つの？**



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

**清原 理事様**

- 今を楽しみつつ
- 他人との違いを楽しみつつ
- 活動を進めてまいります



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

**地域通貨でつながる、ひろがる  
支えあう、まちづくり**

- 地域経済 国家通貨に価値がないとき
- 地域再生 きずなを強める

眠れる資源を  
掘り起こす  
人と人とを  
つなぐ



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

**こんな活動しています**

活動の紹介



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

**宝塚市エコマネー ZUKA**

宝塚市エコマネー すみれ  
運営委員 浅場 万里 さん



- 宝塚市の4地域と1グループ
- 「ありがとう券」恩まし
- すみれ地区 若い人も多い
- 会員数50名、地域運営委員6名
- ・フォーラム開催/クリーン作戦
- ・図書館ボラ(中山地区)
- ・交流会、説明会

2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

**未社**

NPO法人丹波まちづくりプロジェクト理事  
長 赤井 俊子 さん



- 2001立上げ
- 人権・環境・共生実現ツール
- 未社新聞を年4回発行2006/7で21号
- 毎月30日(ミト)の日として未社井戸端会議
- 会員数 130名
- 未社カード/決算パーティ

2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 千姫



NPO法人千姫プロジェクト理事  
藤田益伸 (よしのび) さん

- 2001年10月9日開始
- コアメンバ20人 隊員39人で発足
- 2002年NPO法人化
- 現在隊員 387人



©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## らくかもん



特定非営利活動法人  
コミュニティ・サポートセンター神戸理事長 中村  
順子 さま

「助け合いたい」という声、助けたい人と  
助けを必要とする人とのマッチング

- 「らく」（2000年～2002年）神戸市東  
灘区内約20人
- 「かもん」（2000年～2005年）神戸市  
東灘区鴨子ヶ原地区、約40名

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## らくかもん

CS神戸 中村 順子 さま

「助け合いたい」という声、助けたい人と  
助けを必要とする人とのマッチング

- ・屋外でできることに・実費弁償
- ・コーディネータを設ける
- ・カモンズパーティ(月1回)

発展的に解消  
人々が顔見知りになった  
月1パーティが定着

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 牧局長コメント

- 今地域通貨に対する熱は少し沈静化  
している？  
くリアル経済が少し改善したためか  
→ではコミュニティ活性化は？
- コミュニティに新メンバを迎える時  
には力があるが、メンバ数が増加  
したときにはその対策は必要。

【提案】地域の眠れる資源を掘り起こ  
す機能を加えることが通貨を回す

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 地域通貨ここがいい

しんどいこと  
楽しいこと



©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 千姫

- 思いがけない人と知り合える
- 街角のセーフティネット
- 助っ人掲示板
- 人々の「なんとかしたい」

という思いをかたちにするお手伝い



©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### らくかもん



- 新しいコミュニティができたこと
  - 伝統コミュニティから落ちる人
  - シングル、外国人の人も入った
- 家族単位の近隣つきあいが始まった
- 助け合いを尊重するコミュニティ文化が芽生えたこと
- 運営のコアになる人(責任者)を見つけることは大変
- 役目を終わればこだわらなくて終わる
- 新しいサービスも付加してゆく。柔軟に

2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### 未杜



- 新しい風が入った
  - 農村移住者ら新住民
- 減農薬野菜を未杜で購入
- 実費+未杜で美容院が繁盛
  - 繁忙期に未杜でアルバイトも
- 井戸端会議が学習
  - ・発表の機会



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### 宝塚市エコマネー すみれが役に立ったこと

- 新しい出会いがあり友人が増えた
- 地域を知るきっかけとなった
- コミュニティの輪が広がる
- 高齢者の心強い生活スタイル
- できることを生かして地域の役に立てると 生き甲斐に

2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### こんな地域通貨にしてゆきたい

地域通貨のみる夢



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### 宝塚市エコマネー すみれのこれから

- 運営委員の増員や広報、イベントなどを地道に行い活動を継続
- メールの活用
- 10年後にはマンション各棟に運営委員を配置できるよう

2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

### 未杜

- 事務局運営には適正規模がある
- 2006年3月26日、県下の各団体をつなぐ地域通貨「ひょうご」を発行
- 地域の自立と連帯が進むこと



2006/07/23 ©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 千姫： ネットワーク力で

- 現金収入が減っても生活の質をおとさないことの手伝い如果能たら  
(例) 慶弔姫
- 夢をかなえるツールになれば
- 地域の宝を使う、守る
- いつでも、気楽に行えるように

2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## CS神戸の提言

導入に際し目的別の運用



- コミュニティの活性化：人と人をつなぐ“きっかけ”のツールとして割り切る
- 地域経済の活性化：使用するサービスに公的サービスを加える。  
(例) 公立施設の入場料、介護保険料の免除 など

2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 牧局長 最後にひとつ未来の事例を

【海士町】

ハーン

- 地域内経済循環の促進
- 交流人口の拡大

人口2500人の離島という環境を生かし、消費の域内循環を促進するとともに、観光や地域産品の振興にもつなげる。島全域の公共施設、商店等で利用可能で、町役場職員もボーナスの3割を地域通貨に交換。

- 島の中で通貨が回りだして、農/海産物の流通販路も同時に形成されつつある中、町職員がボーナスの3割を地域通貨に交換するというこも。
- 地域経済、地域ネットワーク両方の促進に地域通貨活動が繋がってゆけば

2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 小さなまとめ

- 活動を通して、地域の宝、潜在能力をすることができる
  - 地域の人をつないでネットワークを作ることができる
  - 得になるサービス  
公的サービスも
- ICカードなどICTも利用すれば、他通貨との互換はより容易になる。(岡田)



2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

地域通貨はまちづくりに役立つということを合点して頂いたところで、実際に通貨のやり取りを体験しました

## さわやか福祉財団の キットでワークショップ

中村さん指導



2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko

## 地域通貨通になってフォーラム を終わりました

さあ、これからあなたも  
やってみませんか

兵庫ボランティアプラザ セミナー室  
2006/7/23 14.00-17.00

2006/07/23

©2006 Prof. Dr. OKADA Mamiko